

調停事項の価額 算定不能 円  
ちょう用印紙額 6,500 円  
予納郵便切手額 2,600 円

受 付 印

調 停 申 立 書

東京簡易裁判所 御 中

令和 年 月 日

申立人の住所・氏名・電話番号等

郵便番号 〒 ー

住 所

氏 名 印

送達場所  上記住所地  次のとおり

電 話 ー ー

ファクシミリ ー ー

相手方の住所・法人名・代表者名

郵便番号 〒 ー

住 所

法人名

代表者名 代表者代表取締役

申 立 の 趣 旨

相手方は、申立人に対し、相当額の金員を支払え

との調停を求める。

紛 争 の 要 点

- 1 申立人（契約番号 \_\_\_\_\_）と相手方は、  
\_\_\_\_\_  
遅くとも□令和 □平成 年 月 日頃から継続的消費貸借取引を始め、  
\_\_\_\_\_  
その後□令和 □平成 年 月 日頃まで取引を継続し、その取引を利息  
\_\_\_\_\_  
制限法で定める法定利率で引直計算すると相当額の過払金が発生している。  
\_\_\_\_\_
- 2 相手方は、貸金業の登録業者であって利息制限法を超える金利で貸付けをして  
\_\_\_\_\_  
いることを知りながら申立人から弁済を受けていた  
\_\_\_\_\_  
 ものであり、上記過払金に対する相当額の利息についても請求する。  
\_\_\_\_\_  
 ものであるが、上記過払金に対する利息については請求しない。  
\_\_\_\_\_
- 3 よって、申立の趣旨記載のとおり調停を求める。  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

添付書類

- 資格証明書             金銭消費貸借契約書             取引履歴書  
 特定調停事件で提出された相手方の上申書（写し）